

令和6年度（2024年度）

決 算 書

自 令和 6年（2024年）4月 1日

至 令和 7年（2025年）3月31日



一般財団法人 国際都市おおた協会
Global City Ota Cooperation Association

財 務 諸 表

貸 借 対 照 表 1

正 味 財 産 増 減 計 算 書 2

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記 4

附 属 明 細 書 6

財 産 目 録 7

監 査 報 告 書 8

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,002,270	16,210,600	13,791,670
未収金	2,970,456	3,119,764	△ 149,308
前払金	0	0	0
流動資産合計	32,972,726	19,330,364	13,642,362
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	976,505	0	976,505
運営管理積立資金	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	1,976,505	1,000,000	976,505
(3) その他固定資産			
什器備品	629,882	822,921	△ 193,039
その他固定資産合計	629,882	822,921	△ 193,039
固定資産合計	5,606,387	4,822,921	783,466
資産合計	38,579,113	24,153,285	14,425,828
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	23,973,133	12,901,675	11,071,458
前受会費	38,000	52,000	△ 14,000
預り金	822,747	1,000,845	△ 178,098
流動負債合計	24,833,880	13,954,520	10,879,360
2. 固定負債			
退職給付引当金	976,505	0	976,505
固定負債合計	976,505	0	976,505
負債合計	25,810,385	13,954,520	11,855,865
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
正味財産合計	12,768,728	10,198,765	2,569,963
負債及び正味財産合計	38,579,113	24,153,285	14,425,828

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	348	25	323
基本財産受取利息収入	348	25	323
特定資産運用収益	652	9	643
特定資産受取利息収入	652	9	643
受取会費	67,000	78,000	△ 11,000
賛助会員受取会費	67,000	78,000	△ 11,000
事業収益	12,083,592	1,522,200	10,561,392
補助金事業収入	503,300	474,700	28,600
自主事業収入	1,038,600	1,047,500	△ 8,900
大田区受託料	10,541,692	0	10,541,692
受取補助金等	114,255,720	100,319,217	13,936,503
受取大田区補助金	114,255,720	88,728,473	25,527,247
大田区受託収益	0	11,590,744	△ 11,590,744
その他補助金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益	31,077	76,212	△ 45,135
受取利息収入	23,057	211	22,846
雑収入	8,020	76,001	△ 67,981
経常収益計	126,438,389	101,995,663	24,442,726
(2) 経常費用			
①事業費	100,187,280	79,831,496	20,355,784
給料手当	29,987,141	19,631,938	10,355,203
派遣委託費	6,654,943	5,112,679	1,542,264
退職給付費用	976,505	0	976,505
福利厚生費	5,830,110	4,904,122	925,988
会議費	0	46,010	△ 46,010
旅費交通費	41,336	109,048	△ 67,712
通信運搬費	2,136,428	2,068,680	67,748
減価償却費	193,039	170,767	22,272
消耗什器備品費	0	268,510	△ 268,510
消耗品費	1,810,966	2,578,780	△ 767,814
修繕費	9,680	260,530	△ 250,850
印刷製本費	866,529	626,843	239,686
光熱水費	0	0	0
賃借料	3,266,576	2,095,525	1,171,051
保険料	167,030	97,670	69,360
諸謝金	2,637,977	1,897,211	740,766
租税公課	0	0	0
委託費	38,558,102	38,842,073	△ 283,971
渉外費	0	10,319	△ 10,319
広告宣伝費	6,201,800	1,002,760	5,199,040
支払手数料	849,118	108,031	741,087

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費	10,845,493	13,338,347	△ 2,492,854
役員報酬	3,870,000	5,720,000	△ 1,850,000
福利厚生費	5,009,028	5,389,991	△ 380,963
会議費	5,364	0	5,364
旅費交通費	37,169	52,606	△ 15,437
通信運搬費	689,169	1,187,090	△ 497,921
消耗品費	6,136	15,779	△ 9,643
保険料	0	70,060	△ 70,060
諸謝金	565,600	350,685	214,915
租税公課	73,667	100,000	△ 26,333
費用弁償	525,000	370,711	154,289
渉外費	20,000	39,825	△ 19,825
支払手数料	44,360	41,600	2,760
③大田区返納金	12,835,653	7,022,228	5,813,425
1 区補助金分	12,332,353	6,547,528	5,784,825
(1) 事業費補助分	5,173,932	2,837,567	2,336,365
(2) 運営費補助分	7,158,421	3,709,961	3,448,460
2 補助金事業収入分	503,300	474,700	28,600
経常費用計	123,868,426	100,192,071	23,676,355
評価損益等調整前当期経常増減額	2,569,963	1,803,592	766,371
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,569,963	1,803,592	766,371
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,569,963	1,803,592	766,371
一般正味財産期首残高	7,198,765	5,395,173	1,803,592
一般正味財産期末残高	9,768,728	7,198,765	2,569,963
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	12,768,728	10,198,765	2,569,963

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の
自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	0	976,505	0	976,505
運営管理積立資金	1,000,000	0	0	1,000,000
合計	4,000,000	976,505	0	4,976,505

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	976,505	0	0	976,505
運営管理積立資金	1,000,000	0	1,000,000	0
合 計	4,976,505	3,000,000	1,000,000	976,505

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,488,506	858,624	629,882
合 計	1,488,506	858,624	629,882

6 満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等 の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表 上の記載区分
補助金 (事業費、運 営費)	東京都 大田区	0	114,255,720	114,255,720	0	-
合 計		0	114,255,720	114,255,720	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	0	976,505	0	-	976,505

財 産 目 録

令和 7 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手許有高		50,374
預金	普通預金		29,951,896
	みずほ銀行 蒲田支店	運転資金	29,885,381
	三菱UFJ銀行 大森支店	運転資金	66,515
未収金		大田区受託料及び補助金事業収益の未収金	2,970,456
前払金			0
流動資産合計			32,972,726
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	みずほ銀行 蒲田支店		3,000,000
特定資産			
退職給付引当資産	みずほ銀行 蒲田支店		976,505
運営管理積立資金	みずほ銀行 蒲田支店		1,000,000
その他固定資産			
什器備品			629,882
固定資産合計			5,606,387
資産合計			38,579,113
(流動負債)			
未払金		当年度に発生した費用で未払いのもの	23,973,133
給料手当			143,448
福利厚生費			249,818
役員報酬			310,000
旅費交通費			2,155
通信運搬費			166,686
消耗品費			115,055
諸謝金			77,567
費用弁償			41,300
委託費			3,626,499
賃借料			7,480
派遣委託費			791,342
広告宣伝費			4,919,750
租税公課			70,000
支払手数料			616,380
大田区返納金			12,835,653
前受会費		令和 7 年度分の賛助会員年会費	38,000
預り金		預り源泉所得税等	822,747
源泉徴収所得税			394,135
社会保険			243,842
雇用保険			180,870
収納金			3,900
流動負債合計			24,833,880
(固定負債)			0
退職給付引当金			976,505
固定負債合計			976,505
負債合計			25,810,385
正味財産			12,768,728

監査報告書

令和7年4月25日

一般財団法人国際都市おおた協会
理事長 成田 浩 殿

一般財団法人国際都市おおた協会

監事 安岡 大作 

監事 小泉 貴一 

私たち監事は、当財団の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

（2）計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上